



東 北 方 面

丸森、筆甫間縣道改修

宮城縣伊具郡丸森町から同郡筆甫村に至る縣道改修に就ては地元から工費の半額即ち筆甫村から金貳萬圓、丸森町から金五千圓寄附することは既に決定したが、丸森町地内の道路敷地寄附の問題が未解決であつた爲に今日迄起工の運びに至らなかつたが今回關係地主と町當局の交渉纏まり丸森町から敷地寄附方を縣に申請して來た。仍て

縣當局に於ても本年度中に起工すべく既に工事關係技術員も定め、準備中である。而して本縣道改修が完成の上は無限の山林を持つて居る筆甫村が開發されることは勿論引いては伊具郡全體の開發の上に貢獻するところが少くないので、地方民は一日も速に完成することを渴望してゐる。

仙臺市内道路舗装工事

仙臺市名掛町から大町五丁目までの道路舗装工事は昨秋施行したが、其の成績が極めて良好なので、他の各極要町でもこれに促されて舊臘來これが施行上についてそれ

々協議を重ね、本年中遅くも明年四月の産業博覽會前には、是非共竣工させやうと資金の調達その他につき奔走中であるが、中でも東一番丁(大町角以北)では一月に入つてから町内有志が協議を進めた結果今春中にアスファルトの舗装を行ふこととし、昨今各戸につき寄附金を募集してゐるが、何れも該工書の必要を痛感してゐるだけに何れも直に應諾する有様で、近く仕様書を調製して市長宛に申請することになつた。最も同町の舗装計劃は前記名掛町地内の舗装よりも早目に樹てられたもので、謂はば仙臺市に於ける舗装街路の口火を切つたものであるから、最上の工事を施工したいと意氣込んで居る。

東 海 方 面

名古屋市の道路問題

大正十年名古屋市が接續町村を併合して

大名古屋建設の第一歩に入つた時、市は合併町村に對して區劃整理組合或は耕地整理組合等を起して都市計劃道路網計劃案を基礎として各組合で土地を寄附し十八間幅、或は十三間半幅の主要連絡道路總延長五十餘里を作るやう勸誘し、町村も是に應じて工事を始め最近大體完成するに至つたが、市當局では其の後財政緊縮を理由として最初の口約を無視し前記道路の開鑿竝に連絡工事を行ふ模様がみえないため、先般來市の不誠意を責める聲が各組合員間に擡頭しかつたので市では大に狼狽し、目下計畫中の都市計劃第二期道路網實施計畫案の實現を急いで居るが、該案によつて救はれる道路は僅かに十五里に過ぎず、残る三十六里は第二期道路網の完成後即ち七年後に於て始めて攻究されることになるので、各組合では何時實現されるか不明の事業を期待して切角用意して置いた道路を荒廢させて置くことは面白くないから此の際斷然組合を

解散して曩に申出た道路の寄附を中止し、提供した土地を元の通りに各組合員に分配してどうかとの意見を生むに至つた、市當局では若し組合が解散して寄附の中止を申出るが如きことがあつては今後殘部の道路を起工する場合に用地を買収して施行するの外なく是には莫大な費用を要し今より尙一層工事の遂行上支障を來すので、種々頭を悩ました結果之が緩和策として前記都市計劃第二期道路網實施計畫案中に土地買収竝に家屋移轉費として廿數萬圓を計上し第二期道路網に外れた路線の一部を整理することになつたが是位のことでは各組合が承知すまいと頭痛針灸である。

大演習を機として 道路の大修繕

新帝陛下最初の御統監の下に行はせられる今秋の陸軍特別大演習は、名古屋を中心として濃尾の山野で舉行されることに内定したので、愛知縣では陸軍省の正式發表を

俟つて直に臨時縣會を招集し、道路橋梁修繕費約四十萬圓を提案協賛を求めざる。この修繕は五月以降大演習期日迄に大演習を行ふ筈で、既に土木課では縣下各區道、縣道について修理を要するものゝ調査に着手してゐるが、道路の政修に就ては未だ昨年九、十月の二回に亘る暴風雨による被害道路がそのまゝとなつてゐるからこれ等も大演習期日迄には修理を要するので、基礎調査が出来次第縣では修路工夫を増員して縣下全般に亘り一齊に修理に着手するが、尙橋梁に付ても現在稍危険なものが若干あり就中今度の大演習の中心となり且つ岐阜、愛知兩縣界の木曾川橋は、年數も相當經過して居り砲車の通行等には多少の危険が感ぜられるので、大修理を施すか或は架替を然す必要があるため縣當局では近く岐阜縣に向け共同修理を爲す様交渉する筈である。が何れにしても此の大演習に依つて縣下各區道、縣道は勿論市町村道及各橋梁

等も大修築を加へられる事とならう。

北越方面

長岡市の道路橋梁費豫算

長岡市の來年度の臨時部土木費として計上された豫算總額は、拾參萬七千七百七拾五圓であつて内八萬參千八百貳拾九圓を道路橋梁費に充てることになつたが、その内譯は大體次の様である。

- 一 道路修繕費 壹千七百貳拾七圓
- 四郎丸地内暗渠伏替、東新町、吳服町、川崎地内道路修繕
- 一 橋梁修繕費 五千貳拾貳圓
- 東千手町、殿町間二ヶ所、旭町川崎地内四ヶ所、石内町、本町四丁目、渡里町、上中島町、船江町、荒屋敷町地内九ヶ所
- 一 道路新設費 四萬八百六拾參圓

地方通信

長町、愛宕間、栖吉川堤防から川崎町、四郎丸町間、東千手町、荒屋敷町間、吳服町、下中島間、東新町地内

一 道路擴張費 貳萬參千八百四拾八圓

文治町長盛座前通り、弓町、四郎丸埋立間

近畿方面

一週に一回阪神國道掃除

阪神國道上の塵芥掃除に使用するため、兵庫縣土木課では過日來各方面から自動車の見積書を取り選擇中であるが、大體ストリート・スプリンクラー・タンク式かオート・スキパー式かの内に決定するらしく、前者は水を流して塵芥を片寄せる装置で價格六千圓位、後者は水を流して吸取る装置で價格貳萬圓位で、これは來年度から使用せなければならぬが、購入費は追加豫算を取

るか又は工事費の剩餘金から支出するか未だ決定して居らぬ、そしてこの兩式の掃除能力は一時間に六尺幅三哩であるから兵庫縣の延長十四哩は四日間かゝることになるが運轉手給の豫算がないので砂利運搬用トラックと兼ねさせるから結局一週間に一回宛位掃除することにならう。

京阪神主要道路上の電柱取拂ひ問題

大阪逓信局では障害の除去と都市の美觀から都會に林立する電柱と蜘蛛の巣のやうな電線を撤去して地下ケーブルに改める計畫を進め、先づ大阪市内では目下都市計畫によつて道路擴張工事を施してゐる北區梅田阪急電車前から淀屋橋を経て北濱一丁目に至る廿四間道路から全部電柱を取拂ひ、神戸市では元町通り全部、京都市では寺町四條通りから松原に至る箇所が何れも交通の最も繁頻なところで殊に後者は祇園祭りの矛が通過するので毎年問題となつてゐた

ものであるので第一期事業として既に着手したが、引續き三都市全部に亘つて徐々に改良する豫定である。なほ奈良市からも春日神社一帯の場所の電柱廢止の請願があり調査してゐるが經費の都合さへつげば地下線にすると、此の計畫について工務課長の語るところに依れば、店舗の前に立つてゐる電柱一本のため一箇月の商賣が百圓位違ふといふことは繁華な町の商人からよく持込まれる苦情である、それでなくとも丸太が往來に林立してゐるのは美觀から云つても交通保全の點から見ても放置出来ないことであるが、經費の問題もあることだから一番實行し易いものから徐々に手をつけて行く方針で、大阪の道頓堀なども早速實行する必要があり土地の人々の自覺を待つてやることにすると。

神戸市道路網計畫

神戸市都市計畫の根本的基準となるべき

道路網は、去る大正十年以來滿五箇年間に亘り、縣市並鐵道當局が、最も慎重なる調査研究を重ね、漸く昨年九月理想的ともいふべき成案を得て、これを内務省に廻付し更にその審査を経て都市計畫委員會に附議されることになつたが、其の計畫の内容は總數百三線、種類三十六米、三十三米、二十九米、二七米、二十五米二十二米、十八米、十五米、十一米、延長十三萬七千米、内神戸市五萬六千米、郡部八萬一千米、工費一億三千萬圓、内神戸市七千六百萬圓、郡部五千四百萬圓で、其の特長とする處は今までの東京、京都、大阪、名古屋各都市の計畫は主要なる幹線道路を市内に限られてゐたのを、神戸市の計畫は郡部まで廣く都市計畫區域内全般に亘つたことに在り、且つ路線の多きことも他に比類がなく、又幅員の如きも郡部は六米といふ割合に狭少なもので、今までの計畫を立て、更に西宮、尼崎兩都市計畫の關係から大阪市の状況までも

考慮し、その系統は地勢が細長いから東西を主とし阪神神明兩國道を連絡する二十間幅道路を中心に、南は須磨線の海岸延長によりこれを十五間幅とし、北は山手線を延長して郡部に通じこれを十三間幅十二間幅及十間幅とし、更に山麓を縫ふドライアウェイとして、西端から東端まで八間乃至六間の道路を設け以上を幹線として、南北線は商、工、各地域を考察して、適當に按配したもので内務省においても道路計畫としては、日本第一の折紙をつけたほどである。

中國方面

道路修理に青年團の美譽

廣島縣高田郡吉田町青年團は社會奉仕のため種々なる事業を計畫し、一般公共のため盡瘁してゐるが、今回同町大賀屋筋から縣立吉田高等女學校並吉田小學校に通ず

る道路が、連日降雨の爲頗る破壊し且石橋の一半破壊墜落し通行困難のみならず、夜間吉田町補習學校生徒の通學は頗る危険となつたのを憂ひ、十五日團員總出で早朝から之が修理作業に着手し、連日孜々として熱心に作業に従事し、遂に美事に架橋並道路の修理を了へ、平坦にして愉快なる道路に仕上げた、之がため千有餘の兩校通學生徒並に補習學校生徒は勿論一般通行人も安全に通行し得る様になつた。世は蕩々として利に走り己を謀ることにのみ汲々たる時に當り、吉田町青年團員の此美舉に對し、地方人は頗る感謝の意を表して居る。

四國方面

高松市本年度の 道路新設と改修

高松市に於て本年度に施行する道路の新設及改修の竣功状況を聞くに、花間町から

出晴線に至る松生線は昨年來工事中であつたが近日竣工することになつてゐる。同線は東西部の交通路を連絡する捷道であつて交通が最も頻繁であるのにかゝらず從來兎角廢棄して交通の便を疎害してゐたもので、今回の改修は非常に喜ばれてゐる。夫から松島町から福岡町を貫く西福岡線は既に竣工し、又公園東門線も出來上つてゐる外目下工事中の楠上線、御坊川の改修等も着々工を進めてゐるので近く竣工する筈である。尙五番丁線の工藝學校から西方を三間幅に擴張する改修は、近く工事に着手する豫定であるが、これで本年度の豫定工事は全部終了する筈である。尙明年度の新設道路については目下調査中で何等決定せず又今の所新設道路の請願もないが何れ豫算編成時期となれば多少の請願はあるだらうと豫測されてゐる。

九州方面

宮崎縣の國縣道改良計劃

宮崎縣下の將來に於ける國縣道改良計畫は、國道に於て宮崎、都の城南市及延岡町の三市街地區は幅員六間、其の他は四間半に擴張し、橋梁も三市街地内のもの又は長さ五間未満のものは道路と同幅員に改め何れも鐵筋コンクリート若しくは其他の永久的構造に改良する事になつてゐる。尙ほ縣道も亦國道に準じ幅員を六間、五間、四間、三間半とし港灣道路は幅員七間、停車場道路は狀態に依り八間、七間、五間、四間及三間半に夫々擴張すると同時に、曲線勾配等も漸次改良する事となつてゐる。因みに縣土木課の調査に依る縣内の國道延長は四十三里二十三町、縣道二百九十八里二十七町三十九間、橋梁國道筋百六十八箇所、縣道六百十四箇所であつて之等に對して悉く理想的改良を施すには一里當り約二十七萬圓、總改良費約九千四百三萬五千八百三十圓を要する計算である。